お試し版のご案内・無料

アグリポータル

農業アプリの入口

畑の記録も、出荷の書類も、スマホひとつで。

作業の記録・農薬の確認・生産履歴・送り状・納品書。
ふだんの「書く手間」を、ボタンで減らすアプリをまとめました。



こんなこと、ありませんか？

- ? 毎日の作業、ノートに書くのがおっくう
- ? JAに出す書類の書き写しがたいへん
- ? この虫に使える農薬、畑ですぐ知りたい

→ アグリポータルなら、ボタンで記録できます

入っているアプリ

作業日誌
「開始」「終了」を押すだけ。どこで何をしたか、時間つきで残ります。

農薬手帳
品目と虫・病気を押して、使える農薬を畑ですぐ調べられます。

生産履歴
JAの生産履歴書をスマホで記入。PDFで保存・印刷できます。

送り状
出荷の送り状を作って、出荷前の確認もいっしょにできます。

納品書
お店や直売所への納品書と、月末の請求書をPDFで。

基本情報
畑・品目・作業者を1回入れれば、どのアプリにも出ます。

無料のお試し版
0円
使ってみてのご意見をお待ちしています。

登録・ログインなし
メールもパスワードもいりません。

データはスマホの中だけ
記録を外へ送ることはしません。

はじめ方は、かんたん3ステップ

1. **スマホのカメラで、右のQRコードを読み取る**
   アグリポータルが開きます
2. **「ホーム画面に追加」をする**
   iPhoneは共有ボタン(□↑)、Androidは右上の：から。次からはアイコンで開けます
3. **「基本情報」で、畑と品目を入れる**
   あとは使いたいアプリのアイコンを押すだけ

agriportal.pages.dev

お試し版のため、画面や機能が変わることがあります。スマホの故障や機種変更に備えて、各アプリの「データの控え」をときどき保存してください。ご意見・不具合は、アプリの「使い方」「設定」のいちばん下の「お問い合わせページ」からお寄せください。JAの公式アプリではありません。

orechin works
畑で使うためのアプリ

アグリポータルのアプリ ①

作業日誌

いつ・どこで・何を・どれだけ

押すだけで、作業の記録が残る。

畑に着いたら「作業開始」、終わったら「作業終了」。
日誌を書く手間なしで、作業時間までわかります。



こんなときに便利

- 去年の今ごろ、何をしたか思い出せない
- 畑ごと・作業ごとの時間を知りたい
- 家族や作業員の記録をまとめたい

使い方は3ステップ

1

畑(圃場)を登録

番号か呼び名を入れます。畑に立って「いまいる場所を入れる」を押すと、地図も入ります。

2

▶ 作業開始

下のまんなかのボタンで、どこで・何を・品目を選んで「作業開始」。

3

■ 作業終了

終わったら赤いボタン。とれた量やメモを入れて保存します。

ここが便利！

押し忘れても大丈夫
あとから終了時刻を入れたり、「直す」で直したりできます。

チームでも使える
作業員が各自のスマホで記録。LINEで送って、管理者がまとめて見られます。

機械の使用時間もたまる
トラクターなどを登録すると、機械ごとの時間がわかります。

表計算にも
記録はCSVで書き出せます。Excelでの集計や分析に。

作業時間を、人の評価や順位にすることはしません。「防除」「施肥」の作業を記録しても、生産履歴の農薬・肥料の記録にはなりません(農薬の記録は「生産履歴」へ)。

アグリポータルの「作業日誌」から

QRコードでアグリポータルを開き、作業日誌のアイコンを押します。

無料のお試し版　登録・ログインなし　データはスマホの中だけ

orechin works
agriportal.pages.dev

アグリポータルのアプリ ②

農薬手帳

使える農薬を、畑で調べる

この虫に、どの薬？
畑ですぐ確かめる。

品目と、出ている虫・病気・雑草を押すだけ。
倍率・時期・回数を、大きな字で見られます。



こんなときに便利

- アザミウマが出た。ねぎに使える薬は？
- 同じ系統の薬を続けて使っていないか心配
- 育苗期・ドローン・粒剤で使える薬を探したい

使い方は3ステップ

1

よく使う農薬を入れる

国の登録情報から選ぶと、成分・RAC・対象の虫や病気が自動で入ります。倍率・時期・回数はラベルを見て。

2



畑で「調べる」

虫・病気・雑草 → 品目 → 出ている名前、の順に押すだけ。

3



大きな字で確認

自分で書いた倍率・時期・回数が出ます。使う前にラベルでもう一度。

ここが便利！

- **国の登録情報から探せる**
  手帳にない薬も、登録情報（2026年10月21日時点）から探して手帳に入れられます。
- **系統（RAC）が色でわかる**
  同じ番号は同じ色の札。続けて使っていないか、ひと目で。
- **いつ使う？でしぼれる**
  植える前・育苗期・定植・生育期、ドローン、粒剤だけ、で探せます。
- **生産履歴とつながる**
  手帳の農薬を、生産履歴の防除基準一覧に取り込めます。

大切なこと：このアプリは、農薬を使えるかどうかを判断しません。手帳にないことだけで、使えるかどうかは決められません。使う前に、最新のラベル・登録内容・所属JAの防除基準を確かめてください。適正な使用を保証するものではありません。出荷前の確認はJAへ。

アグリポータルの「農薬手帳」から

QRコードでアグリポータルを開き、農薬手帳のアイコンを押します。

無料のお試し版　登録・ログインなし　データはスマホの中だけ

orechin works
agriportal.pages.dev

アグリポータルのアプリ ③

生産履歴

JAの生産履歴書をスマホで

生産履歴書の記入を、スマホで、順番に。

用紙1枚が、アプリの「生産履歴書」1つ。
次にやることが出るので、迷わず進められます。



こんなときに便利

- ? 用紙への書き写しに時間がかかる
- ? どこまで提出したか分からなくなる
- ? 農薬No・薬剤名・濃度を毎回書くのが手間

用紙の4つの段階を、順に進めるだけ

①播種報告 › ②栽培中の記録 › ③出荷前確認 › ④出荷完了報告

1

品目と防除基準

品目・品種・防除基準一覧を登録。農薬手帳やExcelから取り込めます。

2

播種報告

種まき・植え付けをしたら「新しい生産履歴書」。施肥・土壌消毒も入れます。

3

栽培中の記録

「＋防除」「＋追肥」で書き足し。防除基準から選ぶと、まとめて入ります。

4

確認とPDF

提出したら「提出した」で記録。用途ごとのPDFを保存・共有・印刷。

ここが便利！

- **終わった段階に「済」**
  次にやることが出るので、どこまで進んだか迷いません。
- **農薬はまとめて入る**
  防除基準一覧から選ぶと、農薬No・薬剤名・濃度がそろって入ります。
- **栽培中・出荷中・終了で整理**
  品目でもしぼれます。終わった履歴書は翌年の参考に。
- **農薬手帳とつながる**
  手帳の農薬を、防除基準一覧に取り込めます。

入れた農薬No・濃度・量が正しいかは、アプリでは判定しません。JAの防除基準一覧と農薬のラベルでご確認ください。このアプリの記録は、農薬の適正使用を保証しません。JAへの提出は、ご自身で行ってください。JAの公式アプリではありません。

アグリポータルの「生産履歴」から

QRコードでアグリポータルを開き、生産履歴のアイコンを押します。

無料のお試し版　登録・ログインなし　データはスマホの中だけ

orechin works
agriportal.pages.dev

アグリポータルのアプリ ④

送り状

出荷の送り状と、出荷前の確認

送り状づくりと出荷前の確認を、まとめて、ボタンで。

品目と作型はボタンで、ケース数は「−」「＋」で。
A4に印刷するか、PDFで送れます。



こんなときに便利

- 毎回、同じことを手書きしている
- 出荷前の確認漏れが心配
- 今月どれだけ出荷したか知りたい

使い方は4ステップ

1. **はじめに登録**
   生産者番号・名前と、品目・作型。よく使う規格を選んでおきます。
2. **＋ 作る**
   品目と作型をボタンで選び、出荷日・生産履歴No・ケース数を入れます。
3. **出荷前の確認**
   確かめた項目にチェック。そろうまで保存・印刷はできません。
4. **印刷・PDF**
   A4横に送り状を2枚か、送り状とチェックシート。LINEでも送れます。

ここが便利！

- **前回の生産履歴Noを使える**
  同じ作付なら、ボタンひとつで入ります。
- **途中でも続きから**
  ほかの画面に移っても、「作る」に戻れば続きを入れられます。
- **出荷記録と集計**
  「出荷確定」にした送り状が集計に入り、出荷量がわかります。
- **品目の設定を人に渡せる**
  品目・作型・規格をファイルで渡せます（記録は入りません）。

JAの公式アプリではありません。A4の白紙に印刷するレイアウトです。正式な用紙として受け付けてもらえるかは、出荷先にご確認ください。

アグリポータルの「送り状」から
QRコードでアグリポータルを開き、送り状のアイコンを押します。

無料のお試し版　登録・ログインなし　データはスマホの中だけ

orechin works
agriportal.pages.dev

アグリポータルのアプリ ⑤

納品書

納品書と、月末の請求書

納品書も、月末の請求書も、スマホでサッと。

直売所・飲食店・お店に野菜を届けている方へ。
毎日の納品を入れておけば、請求書は月末にまとめて作れます。



こんなときに便利

- 納品書を毎回手で書いている
- 月末の請求書の計算がたいへん
- 納品先ごとに値段や締日がちがう

使い方は3ステップ

1



初期設定

農園の名前、よく届ける納品先、商品と値段を入れます。

2



納品書を作る

納品先と日付を選び、数量を入れて「確認して保存」。

3



PDFで送る

納品書や月末の請求書のPDFを、LINEやメールでそのまま送れます。

ここが便利！

納品先ごとの値段・締日
商品の値段、税込・税抜、税率、締日を納品先ごとに決められます。

インボイス番号・振込先も
登録番号や振込先を登録でき、請求書に載せる口座を選べます。

直す・取り消すも安心
一度作ったPDFが勝手に書き換わることはありません。

何人かで入力しても
家族などが入れた記録を、1つにまとめられます。

PDFを送る前に、宛名・金額・税区分をご確認ください。記録はこの端末のブラウザーの中にあります。ときどき「データの控え（バックアップ）」を保存してください。

アグリポータルの「納品書」から
QRコードでアグリポータルを開き、納品書のアイコンを押します。

無料のお試し版　登録・ログインなし　データはスマホの中だけ

orechin works
agriportal.pages.dev